



「護持口数調整」について

札幌組組長 海野英爾

平素より、組に特段のご配慮賜っておりますこと深謝申し上げます。

今、「護持口数調整」は様々な問題点を抱えながら、調整が難航している現状であります。北海道教区におきましても、昨年15年7月第一回「護持口数調整委員会」が開催され、教務所長（当時升巴氏）より総長通達をもって各教区に目標口数の通知がありましたことが報告されました。

この時点においては、今後2、3年の内に動向があるであろうとの認識をいたし、次回までには、総局に対して「全連区」なりでの説明会の開催、又指数（口数）の背景となるデータ資料等を明示いたすことを要望いたしました。

その後15年12月の「組長会」で教務所長より所長会報告として、総局より現護持口数は昭和48年に見直しを図ったものであること、そして来年（16年）8月までに各教区にて調整をいたし、「目標護持口数」に対して各教区各組の指数を報告いたすことを、総局より通達がありましたことが報告されました。

しかし、教区における「護持口数調整委員会」は今年度に入り7回の開催を試みながらも常にその思いは、「納得のいく説明がないこと」「指数に対しての明確な根拠が示されていないこと」等多くの反対意見ともとれる厳しい意見がありました。それを受けて委員会では、本山より担当総務松原氏、志納部長藤井氏を招き説明会を試み協議をいたしました。協議の中において、宗則、「宗達第3章10条」に総局より提示されたものには変更出来ない旨との説明がありました。ゆえに調整委員会の大半の意見として、総局はより民意反映すべく施策を考え、慎重に取り組む姿勢が望まれました。

「調整委員会」では指数の見直し調整の必要性については理解を示しても、問題はその方法論にあり、半ば強制的に各教区にて調整申告いたすようにと結果を求められても、教区・組内にあっても説得力を欠けるものであります。



札幌組においては、問題の重要性を踏まえ「相協議会」を5回、「僧侶会」で説明会、意見要望等を聞き、又「ブロック会議」を開催いたしながら慎重に検討いたし、意見の集約を図ってまいりました。

(教区よりの意見要望書に対する回答資料は配布済み)

組内の総意として、30年間放置していた本山の責任問題、調整においての方法論の明確性に向け、どうしても不信感は拭えないとの思いがありました。

8月27日第7回教区「護持口数調整委員会」にて、様々な問題を抱えていることではありますが、最終的に教区として目標口数を受け入れる事を確認いたしました。

しかし、教区内の調整は早急には困難であることと、札幌組においては組内の不公平感是正について、短期間の中では不可能との申し出を委員会に伝え、委員会の総意とし、総局に対して「北海道教区は目標口数(36,845)について教区内に提示していますが、基づく申告護持口数は当面の暫定的措置とし、2ヶ年以内に教区において再調整いたし、再調整後に申告護持口数として提示いたします」との要望書を提出いたしました。

これにより今後、教区内の調整については現行「教区護持口数」を柱とした各組の指数(口数)を算出、各組において各寺に暫定的調整の取り組みを願い、2ヶ年以内に教区内において新たなる指数のもと再調整を図り、総局に申告護持口数として提示いたします。

愛山護法の念に基づき、来るべき750回遠忌法要をお迎えいたし、新たなる宗門のスタートとさせて頂きたく願うことです。

組 基 推 委 の 動 き

門 信 徒 部

平成16年7月29日札幌組総代会・門信徒部合同による門徒総代研修会が京王プラザホテル札幌にて開催されました。

午後4時より開会式、勤行、札幌組組長、総代会会長の挨拶があり、研修講義に入りました。ご講師には留萌永福寺生れ、東北教区山形組善行寺ご住職、本願寺派勸学北畠典生氏による「お念仏のこころ」の講義に出席者は真剣に耳を傾けていました。

21ヶ寺の住職・総代95名が出席し、6時過ぎ研修会は終了しました。

6時30分より同所に於いて懇親会が催され、お互いに親睦を深めることができました。



婦人部

◎札幌組仏教婦人会連盟総会開催

去る、5月7日（金）札幌別院に於いて、今年度札幌組仏教婦人会連盟総会が午前11時から、連盟加入29ヶ寺の各寺単位仏教婦人会の会長28名が出席して開催されました。昨年度事業・決算報告、今年度事業・予算案が審議されました。

例年の事業の他、昨年から再開されました各寺院の報恩講参拝の継続などが決定し、また事業予算の見直しから会費の値上げが決定いたしました。1ヶ寺三千円が5千円となりました。各寺のご協力をお願いし、今年度の仏婦活動に精進することを確認しあいました。

◎札幌組仏教婦人会連盟総会研修会

同日、午後1時30分から今年度札幌組仏教婦人会連盟主催の会員研修会が各寺より会員・坊守・住職等181名の参加のもとで開催されました。

「お念仏に生かされて」のテーマ、ご講師に函館組西教寺住職・北海道教区布教団副団長であります吉村善充師をお迎えし研修いたしました。

ご講師より、「長生きしたいですか」「何のために」との問いかけがあり、私たちが生きるということは、「お念仏に生かされて」いるんですよの言葉をいただき一同感銘いたし、有意義な研修を受けさせていただきました。また、会場にてダーナ募金をさせていただき、皆様のご協力により、41,828円が集まり早速、本山の連盟に納めさせていただきました。

◎仏婦連盟報恩講参拝が下記の3ヶ寺と別院にお参りし、おときをいただきました。

- 9月19日 真願寺
- 10月15日 札幌別院
- 10月17日 宝流寺
- 11月9日 浄土寺

青少年部

第1回 北海道教区札幌組 児童念仏奉仕団の報告

平成16年7月28日（水）より31日（土）まで 小学校2年生より中学校3年生までの児童9名が札幌組児童念仏奉仕団として、本山参

拝・念仏奉仕の旅に行っていました。

当日、早朝の集合にもかかわらず眠そうな顔を見せずに元気に出発、京都太秦映画村を猛暑（約38度）のなか見学、2日目はJRで大阪まで行き、そしてユニバーサル・スタジオ・ジャパンを見学、3日目は午後より本山へ清掃奉仕（本願寺探検などの楽しみも）、最終日はお晨朝にお参りし清掃奉仕そして最後に御門主さまにご報告、記念撮影の後に閉会式解散となり、夕方の飛行機で帰りました。

この4日間が参加者にとって糧となり、「心、豊かな人間」として成長致しますことを願って居ります。



第1回・北海道教区・札幌組・児童念仏奉仕団・平成16年7月

僧侶部

僧侶研修会が開催されました

去る7月9日、札幌別院において、平成16年度札幌組僧侶研修会が組内23名の僧侶の参加を得て、開催されました。

この度の研修会のご講師は、兵庫教区北摂組廣宣寺住職門中浄光師に依頼をし、ご出講いただきました。

今年度は、第三期基幹運動推進僧侶研修会 僧研ノート2004年度「反差別の教学とは」の問題提起より「いま、僧侶に求められているもの」というテーマを定め、班別討議も盛り込んで実施しました。教区内における連続差別事件を含めて、僧侶としての意識改革の必要性を痛感させられるなど、貴重な学びの時間を共有することができました。



連研部

第13期連研の中間報告

1月31日にはじまりました第13期連研も、41名の受講の皆様とともに、10月9日で第7回を終了し、研鑽を深めさせて頂いております。

毎回午後3時にはじまり、仏事作法や勤行について約30分行い、勤行(正信偈六首引など)30分ののち、その日のテーマにそった、話し合い法座が2時間行われます。話し合い法座は御講師よりテーマにそった問題定義があり、10名程度の班にわかれ、お互いの意見を出し合い、話し合いを行います。その後、各班の話し合いのまとめを発表して頂きそれをうけて、御講師よりまとめのお話をいただきます。最後に讃歌を歌い、午後6時頃終了しています。

経過報告

- 第4回 5月29日(土) 参加者34名 講師 木村良磨 師
 テーマ「お浄土とはどんな処ですか・・・?」
- 第5回 7月10日(土) 参加者35名 講師 石堂了正 師
 テーマ「何のためにお仏壇は必要なのですか・・・?」
- 第6回 9月4日(土) 参加者36名 講師 黒田顕城 師
 テーマ「自由に思い通りに生きることは本当に幸せなのか?」
- 第7回 10月9日(土) 参加者36名 講師 藤井孝至 師
 テーマ「門徒としてどのような生活を送ればよいのか?」



次回からの予定

- 11月13日(土) 講師 山内教嶺 師
 「み教えに生きることと差別問題はあまり関係がないと思いますが…。」
- 12月11日(土) 講師 鹿谷法純 師
 「国のために戦死された方を国が祀ることは当然ではないか。
 靖国神社を国家護持することがなぜいけないのですか・・・?」

教 区 会 報 告

教区会議員 松本哲朗

2004(平成16)年度 第1回臨時教区会

開催期日 2004(平成16)6月25日(水)

開催場所 教化センター札幌別院 1階 会議室

協議内容

①教務所長より窃盗の被害について報告

期日：4月12日午後7時30分以降13日8時20分までの間

発見：8時20分に出勤した職員がロッカー・机等が荒らされているのを発見。

被害：2,558,435円

対応：5月21日をもって被害総額全額を教務所長と賛事2名とで3等分する形で自費弁済。

処理：別院で、窃盗保険で総合保険をかけてあるので、査定の結果300,000円の保険金がおりになつた。別院の会計(費目：交際費)より見舞い金として教区会計へ支出し、自費弁済した3名に対して100,000万円ずつを支給したい旨を説明。処理方法について、協議の結果、出席者の承諾を得る。

②下記の5つの議案上程、議案説明がそれぞれなされ、監査役の藤田周三議員より監査報告がなされた。採決の結果、出席者全員の賛同を得る。

第一号議案 2003(平成15)年度 北海道教区歳計・会計決算

第二号議案 2003(平成15)年度 特別会計 北海道教区教学振興資金歳計決算

第三号議案 2003(平成15)年度 特別会計 北海道教区退職積立金歳計決算

第四号議案 2003(平成15)年度 特別会計 北海道教区地方災害対策歳計決算

第五号議案 2003(平成15)年度 特別会計 北海道教区平衡資金歳計決算

札幌組寺族婦人会創立40周年記念行事

■と き 平成16年12月7日

午後2時 記念法要・物故会員追悼法要

午後3時 記念式典

午後4時 記念講演

龍谷大学教授 生駒孝彰氏

午後6時 記念祝賀会

■ところ 記念法要・式典・講演 本願寺札幌別院

記念祝賀会

JRタワーホテル日航札幌

■嫁してから■

インテリアを職業とするサラリーマンであった主人（現住職）と結婚し、数年後にはお寺の中に居りました。その時の様子は、舅・姑と嫁、若坊守と門徒、三人の子の母親、そして妻。そんな中で、何も出来ない、知らない私が一度にこの様な生活を体験するのは刺激的でもあり、有難いご縁でもありました。丁度お寺も創成の時期でもあり、慣れない生活は目が回る様な毎日でした。

それから二十三年が経ちました。前住職にはお念仏の喜びを、前坊守には笑顔とものを大事にする事を学んだ様に思います。

私にとって善知識であった母も、この八月往生されました。夕張・札幌の二ヶ寺の坊守を精一杯勤めた母でした。

今、寺内は家族が増えました。煩雑な日常に流されながらも、家族の輪、また、役員・婦人会に助けられての毎日に幸せを感じております。

「坊守とは」と問われたなら、まだまだ足りない私ですが、頂いた多くのご縁を次世代に伝える事、また門徒の方々との出会いを大切にしていける事をモットーとしてこれからも歩んでいきたいと思っております。



萬行寺坊守

坪井一枝

う ち の 坊 守 さ ん

■思い出■

何気なく浄土真宗の僧侶に嫁いで30年、いつのまにやら坊守として20年近く過ぎてしまいました。気がつけば、子供も一応は育ち上がり、こちらが最近では子供に叱られる毎日です。何年たってもわからないことばかり、恥ばかりかいて生きています。開教だから苦労？、いえいえ、開教だから自由にやらせていただいています。

音楽会に行ったり、お茶やら、お花やら山登り、旅行など忙しいと言うより、遊んでいます。その合間に、お寺の事をしているようなものです。

住職…働く人 私…遊ぶ人、こんな役割分担しています。

でも、こんな私でもいろいろな人に育てられていただきました。お寺の有り難さ、人間としての有り難さをようやくいくらかでも感じられるようになったかなあ、と思っています。

○これからのこと○

住職より長生きすること

3人の子供がそれぞれ自立すること

お寺のお参りを多くしたい

あせらず、気張らず、「何とかなるさ」が私です。子供には「天然ボケ」などと言われております。

皆様にはこんな私で迷惑かけっぱなしですが、これからもよろしくお願いたします。



興徳寺坊守

藤田由紀子

大念寺副住職 久朗津泰秀さんご結婚

西区二十四軒大念寺副住職の久朗津泰秀さんが、今年の6月20日にめでたく結婚されました。お相手の方は、北海道教区教務所に勤務されていた並沢綾子さんです。組内寺院のご住職方は、何かと出入りする事の多い教務所ですから、ご存じの方も大変多いかと思えます。媒酌人は栗山・唯専寺ご住職夫妻、司婚は千歳・千正寺ご住職、会奉行は当別・勝円寺ご住職、会役者は厚別・安楽寺ご住職他がそれぞれつとめました。いずれも大念寺の報恩講ご法中です。

当日は、大念寺の本堂で厳粛に行われ、披露宴はホテル・ウェルシティ札幌で盛大に催されました。いつもは大変ひょうきんな久朗津さんですが、この時ばかりはとてもきりっとした雰囲気です。今後奥様と益々のご活躍を期待しております。



報恩講のおとぎ紹介

覚王寺

覚王寺の報恩講は9月17・18・19日の3日間動きます。地域別に分け5年に1回当番が廻ってきます。5回のおとぎのメニューは作りたいもの・食べたいもの・旬の材料を使ったものを考慮し、寺族と一緒に話し合います。

味に定評のあるおそば、ちらし寿司、煮しめ、ポテトサラダ等は毎年喜ばれ一人暮らしの門徒さんは「たくさんの方とお話ししながら頂くおとぎは何よりのご馳走です」とおっしゃいます。当番の方達は「おいしかったよ」この一言で疲れも忘れるそうです。又、台所の中で運営感ができ友達の輪も広がるそうです。

時代の変化と共に、問題点もあります。30年前位には近くの市場に買物帳を持ってのんびりと買い物し、支払いは後でという時代でした。今は門徒さんの個人商店に材料をお願いしていますが、閉店になりこの先どうするか思案中です。

ゆっくり時間が流れた報恩講が時代と共に忙しく、あわただしい報恩講になり淋しい気がします。

(覚王寺坊守)



ちよつと読んでみようか この一冊

「夜回り先生」

—眠れない子どもたち その声を、存在に社会の知らせたかった—

定価 1470円

水谷 修 著作 発行所 サンクチュアリ出版

深夜、街を回り少年の更生に取り組んでいる著者は横浜市内の定時制高校の教諭。13年間にわたり盛り場にいる子どもたちに声をかけて歩き続け五千人もの少年の相談に乗ってきたほか、全国各地で講演活動をしている。

引きこもり、リストカット、薬物乱用…社会から逃避する少年は後を絶たない。居場所をなくし、自分を痛めつけ、それでも必死に生きようとする子どもたち。そんな子どもたちと向きあって来た夜回りのエピソードを自身の半生に重ねたノンフィクション。大人や教師の権威を使うことなく、常にひとりの人間として行動する著者は、「子ども達と大人との信頼関係を築く懸け橋になれば」と期待している。水谷さんはいう「大人が子どもを支配しようとしていることがいけない。大人の言葉を理解出来ずに子ども



たちはパニックに陥っている」。

「僕はこの本を通して子どもたちへの心のメッセージを書きたかったんです。そして、子どもたちは大人社会の被害者だということも。例えば夜の街を徘徊している子どもたち

誰があんな寒い所を好き好んで歩きますか？家庭が温かかったり、自分の居場所があれば家にいたいんですよ。誰だって。ないんです。居場所が。僕はそれを社会に知らせなければと思ったんです。」「夜回り先生」は10月27日、TBS-HBCでドラマ化され、水谷さんを演じるのは俳優寺尾聡さん。

おくやみ

萬行寺 開基坊守 坪井 保子様

法名 求誓院釋妙保法尼

平成16年8月20日 往生 行年88歳



フリーコラム

【予測のつかない人生を生きる】

打本 顕真

どなたが言われ出したのでしょうか。人生には、三つの坂がある。上り坂、下り坂、まさかの坂という三つの坂だということです。何度か、布教使さんから聞かされて、日本人は語呂合わせが好きだからなあというくらいに思いながら、聞いていたものでした。

しかし、こうやって生きていくと、思いもかけないことが次々と起こって来るものです。一応の予測を立てますが、当たることはめったにありません。今年の初めの予測では、この夏は冷夏ということでした。ところが、いざ夏が来てみたら、近年にない猛暑でした。これだけ、予報技術が進んだと言いつつ、明日の天気すら当たらないことがしばしばあります。先日、新聞を読んでいたら、百年後の気象を予測した記事がでかでかと出ていて、読みながらおかしくて仕方がありませんでした。専門家は、真剣なのでしょうが、明日の天気も当たらないで、百年後をよくも予測する気になるものだ、と。

当たっても当たらなくても、予測してみたくなるのが我々人間の性なのでしょう。自分は、何歳まで生きるか、そんなことを考えた方は、多いと思います。近頃は、あまり長生きしたくないという人がふえています。それでも今健康であれば、今日明日に死にたいと思うひとはいないでしょう。

しかし、今日の命さえも保証されていないのが、いのちというものなのですね。いくつまで生きるだろうと思っているのは、単なる願望にすぎません。だからこそ、いま息切れ目閉じて、悔いのない人生であったと、後悔しない人生を仏法のなかに、どうぞ見出して下さいと、私は通夜の度に法話してきました。

その法話を、私は私のこととして聞かせていただいていたのだろうか。まさかの坂に立ち、そのことを自問しています。自問する時間を与えられたことに感謝しながら、しきりに思う今日この頃です。